

## 公開講演:即興ダンスにおける音楽とのインタラクション

日時: 2022年12月12日(月曜日) 10:40~12:10

会場: お茶の水女子大学本館306教室 **聴講無料(要事前申し込み)**



講師プロフィール: 沼田志歩 (ぬまたしほ)  
幼少よりクラシックバレエを山路瑠美子に師事。  
お茶の水女子大学舞踊教育学コースにてコンテンポラリーダンスを始める。  
大学卒業後 アムステルダム芸術大学De Theater Schoolのモダンダンスコースに編入、卒業。  
卒業後ヨーロッパを拠点に活動し、オランダ・ハーグ現代美術館で奈良美智の個展オープニングで踊る等、色々なジャンルのアーティストとコラボレーションをする。スイスのGisela Rocha Dance Company(2009)に参加し、高く評価される。Exhale Dance Tribe(アメリカ オハイオ州, 2015)にゲストアーティストとして所属。  
07年より創作活動を始め、ソロの他、柳本雅寛や梶谷拓郎とのデュエット作品を発表。  
International Dance Festival in Taegu('10)、East Dragon('09)、Seoul Art Relay('08)等のフェスティバルに招聘される。第16回東京なかの国際ダンスコンペティション第一位('14)、全国舞踊コンクール創作部門第二位('14,'16)など受賞。  
現在、都立総合芸術高校特別非常勤講師(舞台表現科)

### 【講演】

即興は、時代・地域・ジャンルを問わず広範に実践されている方法です。

即興の一般的な定義には「あらかじめ準備することなくその場で思いのままに作り出すこと」とあります。

この定義自体はあらゆる即興に適用可能で様々なケースを含みますが、本講演では非即興の音楽に対する即興のダンスというケースにフォーカスしていきたいと思います。

即興ダンスは単なる身体的な反射運動ではありません。どのような要素が影響していくのか、演奏者側へ及ぼす影響なども踏まえながら、即興表現というものを実演を含め考察していきましょう。

バイオリニスト: 真野謡子  
山口県出身。オランダ・デンハーグ王立音楽院卒業。  
Netherlands String Quartet Academy, ロッテルダム音楽院にて、さらに研鑽を積む。ヴェルビエ音楽祭、ルツェルン音楽祭アカデミー、オードバラ音楽祭、パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)、小澤征爾音楽塾などに参加。2010年春には、パレスチナにて、バレンボイム=サイド財団の教育プロジェクトに携わる。



スペイン・バレンシア州立歌劇場オーケストラ、新日本フィルハーモニー交響楽団、横浜シンフォニエッタ、Malaysian Philharmonic Orchestra、Singapore Symphony Orchestraのフリーランス奏者として、演奏。これまでに、光永俊彦、佐久間礼子、Theodora Geraets、Ilona Sie Dhian Ho、Gordan Nikolicの各氏に師事。室内楽を安永徹、市野あゆみの両氏に師事、研鑽を続けている。また、Mauricio Fuks、Zakhar Bron、Ana Chumachenkoの各氏のマスタークラスを受ける。現在、欧州、アジア、日本において、ソロ・室内楽・オーケストラで幅広く活動中。

[公式サイト]<http://www.yokomano.com/>

**\* COVID-19対策のため、参加者は全員マスクを着用します。参加希望の方は事前にメールにて中村までご連絡ください。**

**\* 本講演は、「舞踊における色・音・香」の授業の一環として行います。通常の教室ですが、可能な範囲で実演も行っております。**

問い合わせ先: お茶の水女子大学文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学コース  
准教授 中村美奈子 [nakamura.minako@ocha.ac.jp](mailto:nakamura.minako@ocha.ac.jp)